

訪問介護ルート最適化サービス

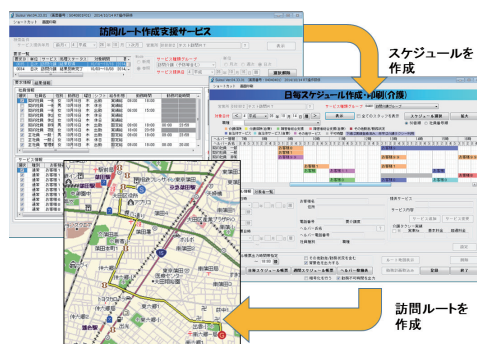
仕事の内容やスケジュール管理が複雑な訪問介護・看護の現場で、最適化エンジンを活用したシステム化の導入で、作業やスケジュールを管理。より短時間の作業で従業員の仕事を平準化し、かつサービス・レベルを向上させた。

背景

現在、多くの訪問介護・看護の事業所では、通常1日に7~8件の高齢者宅を訪問する。ほとんどの事務所では職員の訪問予定を担当者が手作業で作成しており、月次、週次、日次で数時間規模の労力が必要とされている。この状態を改善するために、介護事業者であるセントケアグループと地銀シンクタンクである(株)ちばぎん総合研究所のリードにより、日本アイ・ビー・エム(株)(最適化エンジン提供)、ちばぎんコンピューターサービス(株)(ITサービス提供)が共同で最適化システムを構築。より短時間の作業で職員の仕事を平準化し、かつサービスレベル向上を目指し、平成24年から検討を継続してきた。

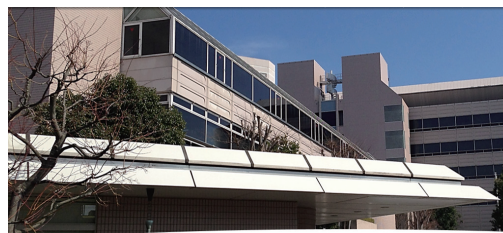
概要

- ①各職員の技能、利用者の要介護度、職員同士あるいは要介護者との相性などの情報を考慮して登録し、これら要素を考慮した最適な訪問予定を作成する。
- ②訪問ルートの最適化には、全体の訪問時間、職員間の負担の平準化、コスト削減など、各事業所の実状に応じた最適化ロジックを選択でき、さまざまなタイプの事業所のニーズに答えることが可能。
- ③システム導入により、利用者の当日キャンセルに対してもスケジュール修正が容易になり、応援の調整などに活用することも可能になった。



アピールポイント

- 介護職員の身体的・心理的な負担を平準化することにより、労働環境の改善、サービスレベルの向上が実現できる。
- 介護ステーションの管理負担を軽減しつつ、コスト削減効果が見込める。(セントケア社では、7%以上のコスト削減を実現)
- ちばぎんコンピューターサービス(株)では、医療機関・介護事業者様向けの各種ソリューションを提供(医事会計、電子カルテ等の基幹システムから人事給与、就業管理システム)。このノウハウを生かして、今回のシステムにも参画した。



人

Key Person

- (株)ちばぎん総合研究所取締役社長 水野創氏:元日本銀行システム情報局長だったことから、関係各社の知見を生かし、短期実用化を実現した立役者である。
- セントケアホールディング(株)執行役員 岡本茂雄氏:現場の感覚をシステムに落とす作業が鍵となっていたこのシステム化において、岡本氏を中心に、訪問介護事業に精通するセントケアホールディング(株)の全面的な協力があって実現した。



水野 創氏



岡本 茂雄氏

日本アイ・ビー・エム株式会社 政策渉外

<http://www.saint-care.com/information/pdf/newsrelease140130.pdf>

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21 Tel.050-3150-2798